

業界セミナー 「マスコミ業界のオシゴト！～新聞社編～」 開催レポート

ゲスト講師

株式会社沖縄タイムス社
総務局 総務部 人事班 海勢頭 利江氏



令和5年6月28日、業界セミナー「マスコミ業界のオシゴト！～新聞社編～」を開催しました。株式会社沖縄タイムス社より海勢頭 利江氏を講師にお招きし、マスコミ業界や新聞社の仕事内容について教えて頂きました。今回はその一部をご紹介します！

マスコミとは

「マスコミュニケーション」＝不特定多数の人（大衆）に、大量の情報を伝達すること。

マスコミ業界の主な企業には「新聞社」「テレビ局」

「ラジオ局」「出版社（雑誌）」などがあり、

情報を届ける媒体（紙、電波など）がそれぞれ異なるという説明の後、それぞれの媒体でどのような仕事があるのか、「テレビ局・ラジオ局の仕事」「新聞社・出版社の仕事」に分けて教えて頂きました。

マスコミの仕事には「色々な人に会える」「新しい情報、幅広い情報に触れる」「企画やモノづくりなどクリエイティブ」「地域や社会をより良くする」「常に勉強。成長が実感できる」という魅力があると言われ、参加者の方々も熱心に耳を傾けていました。



新聞社の役割

新聞社の役割として、日本新聞協会が54年ぶりに改訂した新聞倫理綱領（2000年6月制定）から「おびただしい量の情報が飛びかう社会では、なにが真実か、どれを選ぶべきか、的確で迅速な判断が求められている。新聞の責務は、正確で公正な記事と責任ある論評によってこうした要望にこたえ、公共的、文化的使命を果たすことである」を引用し、新聞の責任と使命を解説しました。

新聞社の仕事

新聞社の仕事を「記事を書く」「広告をつくる」「読者に届ける」「新ビジネスにチャレンジ」「地域貢献・SDGs事業」の5つに分けて説明。

「1日も途切れることなく、日々の営みや県内外の出来事取材し、伝え続ける」「雨の日も風の日も、読者の手元に届く新聞。約500の販売店と1300人の配達員が支える」「新商品やイベントの告知など、人々の生活に必要な情報を、きめ細かくカバーする。それが新聞広告の力」というフレーズから、この仕事の責務とやりがい伝わります。